



赤ちゃんは、まわりから語りかけられることばや様々な音を聞いて育っていきます。

でも、1000人に1～2人の赤ちゃんに生まれつきの聞こえにくさ（難聴）があるといわれます。

新生児聴覚スクリーニング（新スク）検査は、赤ちゃんの難聴をいち早く発見し、早期に適切な支援や療育を開始するための大切な検査です。

詳しくは「新生児聴覚スクリーニング検査について」のリーフレットや、静岡県乳幼児聴覚支援センター（静岡県委託事業の新スク検査実施からの支援機関）HPの紹介動画をご覧ください。

新スク検査で「要再検査（リファア）」となり不安を感じたり、難聴が確定したときの保護者への相談支援のために、検査をした医療機関と市町母子保健窓口、乳幼児聴覚支援センターとの情報共有が欠かせません。

新スク検査結果は、支援センターが運用する「新スク管理支援システム」に個人が特定できない情報として登録され、「リファア」の場合、システムから配信されるSMSを用いて、精密検査や聴覚・言語発達に関する情報提供など、相談支援についてのご案内をします。

静岡県乳幼児聴覚支援センターHP <https://www.shizuoka-kikoesupport.jp>



●新生児聴覚スクリーニング検査の結果が出たら

*パスの場合

- ・検査の時点で、聞こえは正常ということです。成長の過程で、中耳炎やおたふく風邪、髄膜炎などで難聴になる場合や、まれに進行する難聴もありますので、母子手帳などを参考に赤ちゃんの聞こえの発達をよく観察しましょう。
- システムに登録される情報は、お名前ではない識別番号とお住いの市町名・生年月日
検査実施機関（当院）、検査実施日とパス/リファの結果のみです。

* リフアーの場合

- ・精密聴力検査機関で難聴有無の確認のため、当院から通常の紹介状を作成し、受診予約をとります。その紹介状を持って、必ず受診しましょう。
- システムには、性別と紹介先の精密聴力検査機関名が追加で登録され、SMSが自動配信されます。（配信後、電話番号情報は、システムから削除されます。）

【保護者記入欄】 ※ [] 内の、いずれかに○をつけてください。

- 私は新生児聴覚スクリーニング検査の実施について、理解しました。 [はい・いいえ]
- 私の子どもが新生児聴覚スクリーニング検査を受けることを希望します。 [はい・いいえ]

申込年月日	年 月 日
保護者氏名	
保護者住所	携帯電話番号（ ）

※検査申込書兼同意書は各施設で保管してください。